

2020年11月2日

各位

2020年度「CS・品質月間」について

当社（社長：大田 勝幸）は、毎年11月を「CS・品質月間」と定め、グループ会社および協力会社とともに、様々なCS・品質向上活動に取り組んでおります。今年度は、「今できること」をテーマに下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

記

1. 社長メッセージの発信

本日、社長から当社、グループ会社および協力会社（以下、「各社」）従業員向けに「CS・品質月間」にあたってのメッセージを発信し、積極的な取り組みを呼びかけました。

<社長メッセージ（要旨）>

当社はENEOS株式会社として、新たなスタートを切りました。我々は、安心・安全な品質の商品・サービスの提供を継続し、人々の暮らしを支える存在として信頼され続けるために、日々、CS・品質の更なる向上に取り組んでいく必要がありますが、コロナ禍の現在、その取り組みはこれまで以上に様々な工夫が求められています。だからこそ、我々一人ひとりが、継続していかなければならないことや新たに取組むこと、すなわち「今できること」は何かを改めて考え、果敢に取り組んでいくことが必要です。社会の一員として高い倫理観を維持し、安全・環境・健康に対する取り組みを最優先した活動を継続するとともに、お客様に信頼され続ける存在であるために、「今できること」を主体的に考え、新たな価値の創出に取り組んでいきましょう。

2. スローガンの選定とポスターの掲示

各社従業員の応募作品14,594点から今年度のスローガンを決定しました。期間中、スローガンが掲載されたポスターを各社にて掲示します。

今年度スローガン「考えよう 今できることすべきこと 築いていこう 新たな価値を」
(EMGルブリカンツ合同会社 森田美穂さんの作品)

3. 各社で実施する独自活動

お客様満足および品質に対する意識の啓発を目的とした講演会を、今年度はコロナ禍の状況を踏まえ、顧客創造および人と組織をテーマに動画配信を行います。各活動拠点でも、WEBを活用した外部講演会参加など新しい生活様式に合わせた取り組みを実施します。

以上

<添付資料> CS・品質月間ポスター

